

三重大X [えっくす]

三重大学広報誌

vol.9

2007
SPRING

CONTENTS

ホットNews

地震発生

さあ、どうする!!

01~02

特集

三重大学
法人化から3年の歩み

03~14

特集

変わる!

三重大学医学部附属病院
大学周辺整備

15~18

特集

輝くOB

19~24

えっくすくん教えてQ

25~26

紹介・施設から

27~28

えっくすくん気になるNews

29~30

スポット・学校紹介

31~32

歴史街道シリーズ

34



News

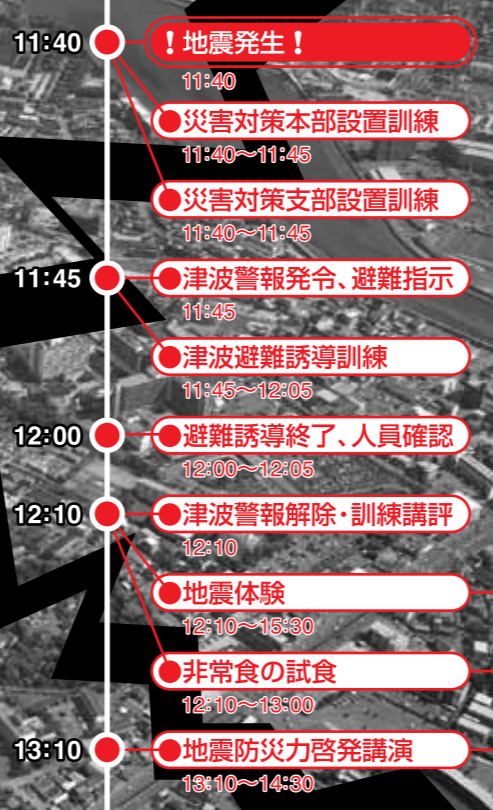
地震発生
 熊野灘沖マグニチュード8.7
 三重大学上浜キャンパス震度6強

さあ、
 どうする!!

1月30日

東海地震や東南海・南海地震をはじめとする海溝型巨大地震の発生が危惧されている中、シーサイドキャンパスとして海岸に隣接した三重大学は、津波による浸水被害の可能性大!!本学危機管理マニュアルに則った学内の震災対応体制の検証(問題点の抽出および修正)と、本学構成員(学生・教職員)の地震・津波防災意識啓発を目的として、学生・教職員1200人が参加した避難訓練を初めて実施しました。

三重大学地震・津波避難訓練



今回の訓練内容

- ### 1. 災害対策本部及び支部を設置し、教職員・学生に対する避難指示の伝達

●本部設置

ポイント 自分の身を守りましょう!
 ◎揺れが大きいと動くことが出来ません。いかに身の安全を確保するかを考えて行動。
 <机の下に潜る、座布団等で頭部を守る>
- ### 2. 教職員の指示による避難誘導

ポイント 落ち着いて行動!
 ◎揺れが収まったら…・火を使っていたら、火を消す。
 ・周囲の状況を確認。(建物の破損、けが人の発生等)
 ・建物の破壊状況によって、速やかに外へ避難。(今回の訓練では屋内に待機)
 <あわてず、係員の指示にしたがって避難>
- ### 3. 地震・津波に対する意識の啓発

アルファ米

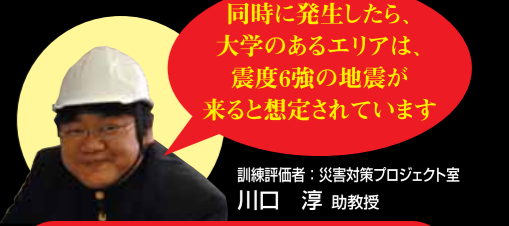
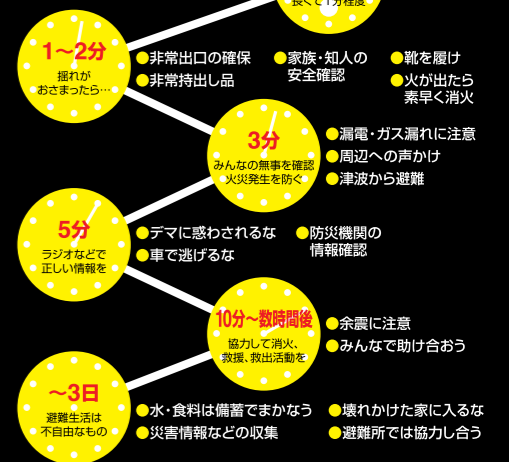
試食

人文学部でPCIによる啓発

地震体験車「そなえちゃん」

学長より挨拶

●地震発生時の時間経過別行動マニュアル



東海・東南海・南海地震が同時に発生したら…

- 震度6強とは
- 人は 立ってられない。這わないと動けない状況。
 - 建物は 1981年(昭和56年)以前に建てられたものは全半壊の可能性大。(ほとんどが耐震補強がされていない)
 - 海沿いでは 地盤の液状化が発生(地中の水分がふき出し、地面が陥没したりする)



今回の避難訓練を振り返り一言!!

- 初めて、全学で訓練を実施することができた。
- 構成員(学生・教職員)が、「まずは自分の身を守る」ことの大切さが理解できた。
- 構成員(学生・教職員)が、防災意識を持つことができた。
- 訓練参加数が少なかった。
- キャンパス内の一斉放送設備がないので、緊急情報の伝達に時間がかかった。

今回の訓練で学んだこと・検討したことを、ぜひ次回の避難訓練に活かそうね!

財務・経営

法人化後、運営費交付金への効率化係数の導入や総人件費改革など、財務運営が厳しくなる中、以下の取組みを実行しています。

- ◆人件費の抑制、目標チャレンジ活動など業務の効率化も活かした経費節減
- ◆外部コンサルティング導入による事務の合理化
- ◆運営費交付金の特別教育研究経費や競争的資金など必要な予算の確保
- ◆施設整備
 - ・耐震化等の観点から優先順位をつけて計画的な施設整備
 - ・附属病院の再開発を開始

教育

地域社会や国際社会で活躍できる人材の育成
入学から卒業までをサポート

- ◆高等教育創造開発センターや共通教育センターを設置
- ◆社会で通用する能力を修得できる教育プログラムの開発と展開（PBL教育やTOEICを活用した実践英語教育）
- ◆学生総合支援センター設置（学生生活全般に対する相談と支援の体制を整備）

研究・社会連携

- ◆世界拠点形成研究（三重大学COE）の推進、若手研究の支援
- ◆地域貢献型研究の推進
- ◆キャンパス・インキュベータ、サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーによるベンチャー研究の推進、三重大学発ベンチャー企業の支援
- ◆生命科学支援センター：生命科学に関する学際・複合分野の先端研究の推進
- ◆創造開発研究センター：社会連携・地域連携体制の整備
- ◆知的財産統括室による知的財産の創出と啓発活動の展開
- ◆災害対策プロジェクト室の充実
- ◆四日市フロントと東京オフィスの整備
- ◆包括協定：地方自治体、一般企業、教育委員会等との連携、地域貢献活動
- ◆地域文化交流活動の展開

総務

- ◆労働基準法や労働安全衛生法が適正に対応できる組織づくり
- ◆目標チャレンジ活動により、職場単位の創意工夫や改善活動の促進への取り組み効率化・人件費削減への努力
- ◆大学の社会的責任（USR）の一部として環境ISO14001認証取得を目指す（環境省が主催する環境コミュニケーション大賞で「環境報告書2006」が優秀賞を受賞）
- ◆三重県との定期懇談会、市町村や民間企業との連携・協力の活発な動き

国立大学は、平成16年度より国立大学法人として新たなスタートを切りました。この3年間、三重大学はそれぞれの部門でさまざまな取組を行ってきました。

この号では教育と研究を特集しました。



情報・国際交流・広報

情報戦略

- ◆大学内での様々なサービスへの展開力を持つ「教職員・学生の身分証明書のICカード化」「無線LANを用いたU-Campusの実現」、電子図書部門として「学術情報ポータルセンター」の構築、「機関リポジトリ」「歴史街道GIS」などの登場

国際交流

- ◆国際教育部門、国際研究部門、国際サービス部門をもつ「国際交流センター」をスタート
- ◆「3大学国際ジョイントセミナー&シンポジウム」の三重大学での開催
- ◆「年2回のAPANへの戦略的参加」

広報

- ◆地域広報誌「三重大X(えっくす)」の創刊、他の広報誌のリニューアル
- ◆名古屋の地下鉄栄駅ホームにアンドン広告
- ◆新しい三重大学ホームページが春に登場予定

三重から世界へ

地域に根ざし、世界に誇れる
独自性豊かな教育・研究成果を
生み出す。

基本理念

三重大学は、総合大学として、教育・研究の実績と伝統を踏まえ、「人類福祉の増進」「自然の中で
の人類の共生」「地域社会の発展」に貢献できる「人材の育成と研究の創成」を目指し、学術文化
の受発信拠点となるべく、切磋琢磨する。

人と自然の調和・共生の中で

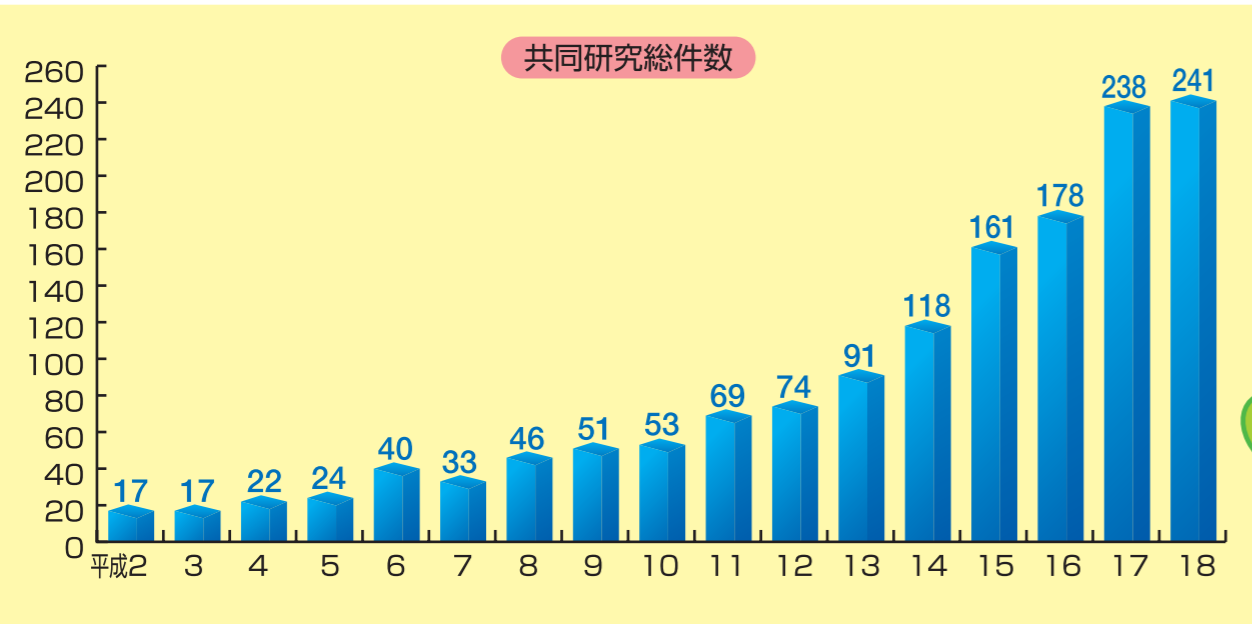
特集

三重大学
法人化から
3年の歩み

研究

三重大学では、研究戦略として大きく5つ(右頁の三重大学の研究戦略I~V)に分類し研究を進めてきました。法人化後、独自の研究では特許数も増加し、共同研究では、様々な分野で質・量ともに充実し、さらに躍進を続けています。

三重大学の共同研究(H19.2.9現在)

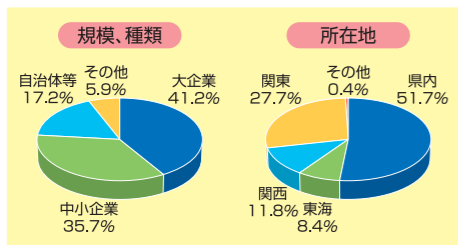


三重大学の研究戦略



<p>新しい素材で 未来の電池を開発</p>	<p>木材の成分から生まれる、 夢の新素材</p>	<p>21世紀の環境保全型植物 「サゴヤシ」</p>	<p>未来エネルギー・コミュニティ の成立工学</p>	<p>地道な基礎研究から生まれる オリジナルがんワクチン</p>	<p>生活習慣病の オーダーメイド予防</p>
<p>ゲノム化学を利用して イネを病気に強くする</p>	<p>人の動きにスムーズに 協調するロボットの開発</p>	<p>次世代のために 植物で環境浄化</p>	<p>ソムリエロボットが 食物の安全性を推定</p>	<p>化石エネルギーに依存しない 人間社会の構築</p>	<p>基礎研究と特許基盤の 開発がアマモ場造成に貢献</p>
<p>世界から注目される マラリア防圧の独自研究</p>	<p>青色発光ダイオードを生んだ 半導体研究の未来</p>	<p>世界唯一の継代飼育と 命の重みを伝える教育</p>	<p>モデル動物を利用した 癌の予防と治療</p>	<p>がん予防の研究成果を 多くの人々へ伝えたい</p>	<p>食による癌の一次予防を 啓発するエビデンスの開発</p>
<p>人と環境に優しい バイオエタノール研究</p>	<p>産学連携の 未来を創る</p>	<p>新しい食資源、海藻の機能を 人々の健康に役立てる</p>	<p>地域の疾病の原因究明が、 世界の神経難病への新たな光に</p>	<p>3次元注文システムを通じて 心豊かな装いを楽しんで</p>	<p>尾鷲の魅力伝える古文書を 町おこしの出発点に</p>
<p>血栓症の急増に歯止めをかける 国際賞受賞の研究</p>	<p>四日市公害を原点に、 未来へ・アジアへ</p>	<p>熊野灘の マッコウクジラを追う</p>	<p>「乗物酔」の メカニズム研究</p>	<p>サプリメントの安全性 評価の重要性を提言!</p>	<p>決め手はスパイス 食文化研究</p>

共同研究の相手先(H17年度)



共同研究・受託研究国立大学法人別合計受入額(H17年度)

順位	機関名	件数	全体金額(千円)	順位	機関名	件数	全体金額(千円)
1	東京大学	1,803	26,558,391	11	東京農工大学	355	1,818,197
2	京都大学	1,168	11,532,691	12	神戸大学	347	1,468,440
3	大阪大学	1,148	11,144,091	13	三重大学	346	818,142
4	東北大学	962	9,184,880	14	山口大学	335	1,750,122
5	九州大学	833	6,136,352	15	静岡大学	321	1,142,135
6	北海道大学	771	5,529,466	16	千葉大学	314	1,209,856
7	東京工業大学	683	5,153,086	17	岡山大学	311	1,229,298
8	名古屋大学	627	3,496,171	18	岐阜大学	311	862,142
9	筑波大学	477	2,180,084	19	信州大学	307	1,097,096
10	広島大学	366	1,524,852	20	名古屋工業大学	273	1,149,045

特集

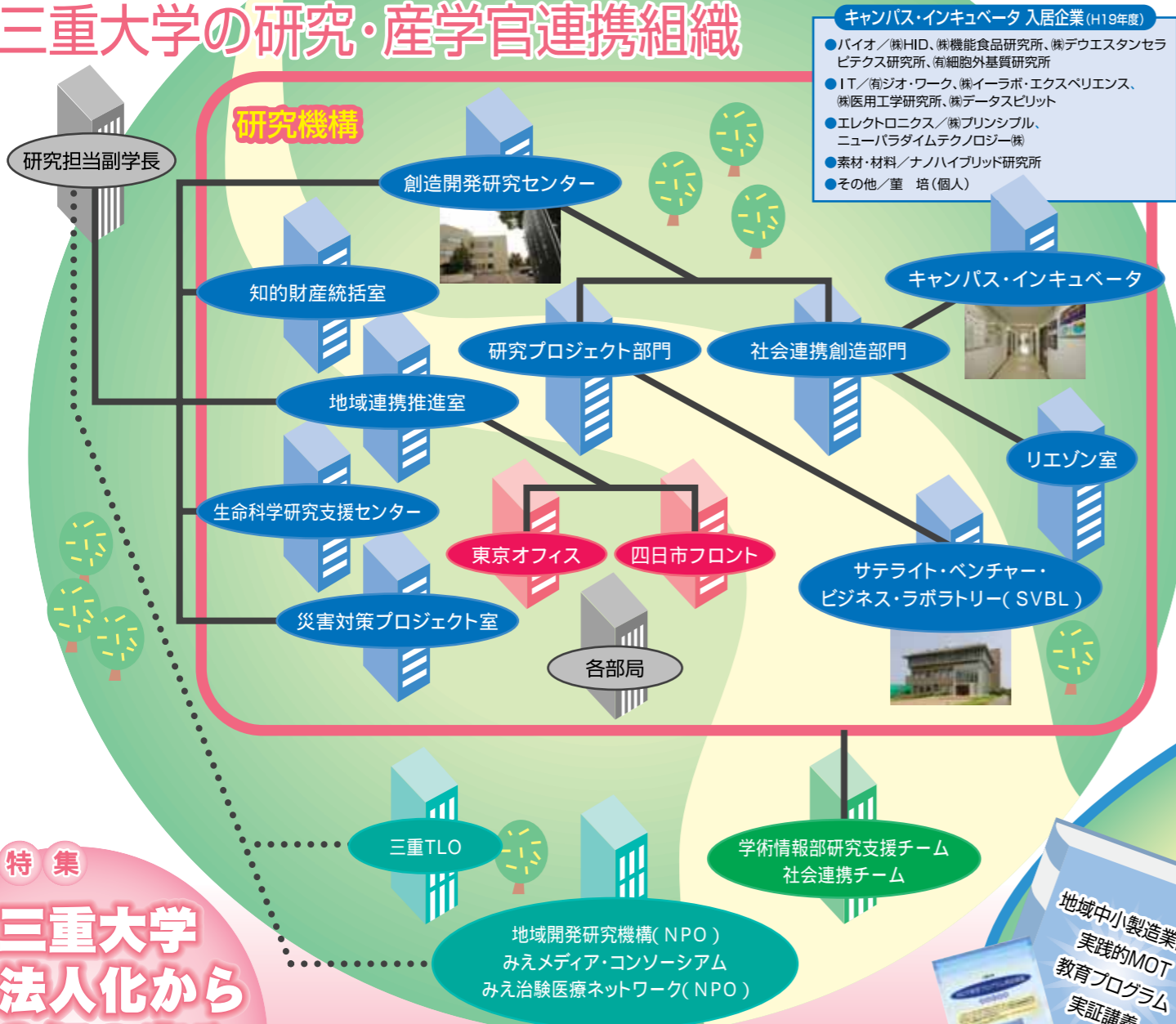
三重大学
法人化から
3年の歩み

地域社会との接点

研究

「世界に誇れるトップレベルの研究」を目指したこの3年、三重大学では、更なる研究・社会連携・社会貢献向上のため、大学組織、研究機構の設置・整備を行ってきました。その結果、地域に向けた講座・教育プログラムなど、様々な成果を上げています。

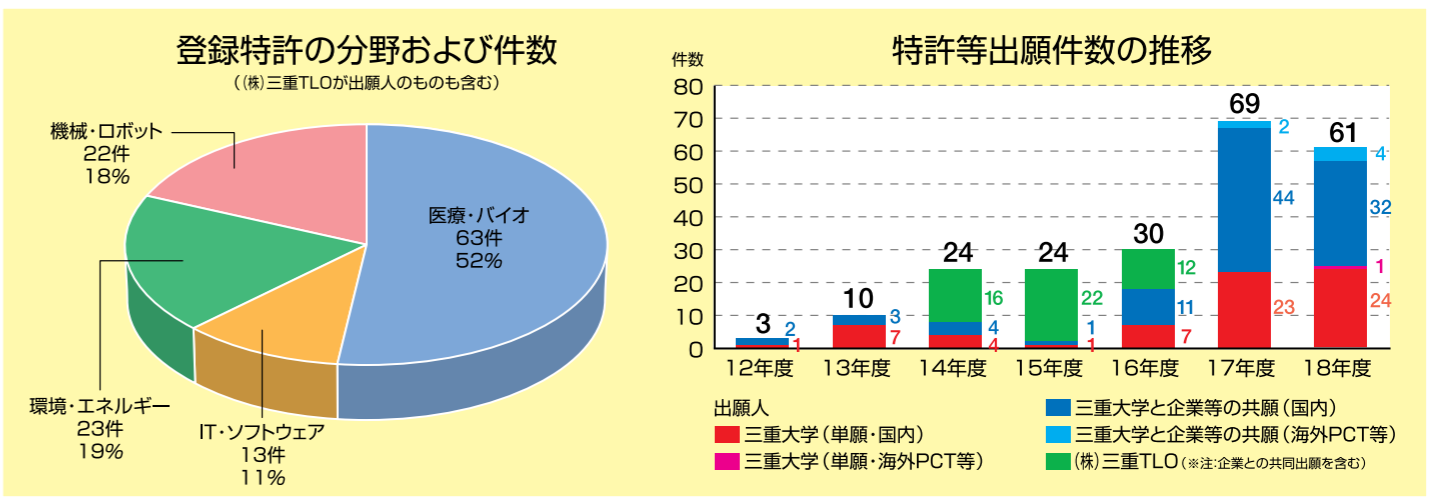
三重大学の研究・産学官連携組織



特集
三重大学
法人化から
3年の歩み

地域社会との接点

三重大学の特許 (H19.1末現在)



知的財産

- **三重大学単独所有公開特許他**
 - ・マイクロバブル発生ノズル
 - ・カーボンナノチューブ成長法
 - ・磁性体を含む材料の検査方法及び装置
 - ・水質浄化用焼結体及びその製造方法
 - ・泥中フミン物質の分離回収方法
 - **三重大学単独所有登録特許**
 - ・抗酸化剤およびその製造方法
 - ・キチン含有廃棄物の処理方法
 - ・血液凝固阻害活性を有するブラジルサシガメ由来のTi-4蛋白質
 - ・血液凝固阻害活性を有するブラジルサシガメ由来のTi-3蛋白質 他
 - **「登録」実用新案他**
 - ・体液漏出防止処置用具
 - ・鍵盤楽器練習用補助器具
 - ・電荷を有する微小球体の保持器具
- 詳しくは、知的財産報告書URL
http://www.crc.mie-u.ac.jp/chizai/files/chizaihokokusho/chizaihokokusho_2006.pdf

産学官連携の講座および教育プログラム



教 育

三重大は、学術文化の発信・受信拠点として「人と自然の調和・共生」を大切にしながら、地域社会や国際社会で活躍できる人材の育成を目標に様々な教育プログラムを展開しています。また、入学から卒業までの学生生活全般のサポートに全力を尽くしています。

電子図書利用のためのリテラシー教育

図書館利用ガイダンスを始め、様々な情報リテラシー教育支援を行っています。
★詳しくは「三重大X」vol.5,6,7,8 Information参照★



国際教育

国際交流・国際協力の拡大と活性化を図るとともに、国際的な課題の解決に貢献できる人材を養成するための数々のプログラムを進めています。
★詳しくは「三重大X」vol.5 (特集・国際交流)参照★



「三重大X」vol.8 P11より

3大学国際ジョイント&セミナー

1994年、3大学(三重大、協定校⇒江蘇大学(中国)、チェンマイ大学(タイ))との国際交流事業として始まりました。世界、とりわけアジア共通の最大関心課題「人口」「食料」「エネルギー」「環境」「文化」「未開拓分野」をテーマに学生自らが取組み、世界に発信しています。

TOEICを活用したコミュニケーション力の向上

共通教育の英語教育では、2005年4月からTOEIC*を取り入れ、卒業までに社会で通用する「実践英語力」を身につけることができる授業を、展開しています。

※TOEICとは?
アメリカの標準テスト開発機関が作成している、信頼度の高いテストで、国内の教育機関が入学や進級の基準として用いているばかりでなく、多くの企業が採用や昇進の際の基準として採用しています。

PBLチュートリアル教育

三重大では、学生が少人数で自主的に取り組む問題発見解決型教育を全学的に展開しています。



e-learning

インターネットや電子メールに代表される情報ネットワークが大学の教育・研究活動には不可欠です。通信ネットワークや衛星通信を用いた遠隔授業、eラーニングシステムを活用した最新の情報技術を用いた教育が、導入されています。

日本技術者教育認定機構(JABEE)認定の教育プログラム

2005年度、工学部機械工学科、生物資源学部生物圏生命科学科および共生環境学科(地域保全工学講座)がJABEEの認定を受けました。この他、多数の教育プログラムが認定を受けるための準備を進めています。
★JABEEについてはP26参照★

コミュニケーション力

国語力 実践外国語力 情報発信力
発表・討論・対話力

文部科学省大学教育改革支援プログラムに各取組が採択

個性輝く大学づくりなど、高等教育の活性化を促進させる目的で設けられた「文部科学省大学教育改革支援プログラム」に、各取組みが採択されました。
★詳しくは次項参照★



高校との教育連携事業の推進

医学部、工学部及び生物資源学部の協力の下にスーパーサイエンスハイスクール事業を推進。また、高校生を対象とした公開授業(東紀州講座)およびサマーセミナーを開講。

学生総合支援事業

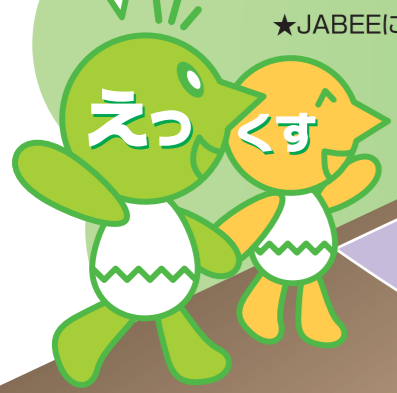
保健管理センター 学生なんでも相談室
キャリア支援センター及び就職支援室等



修学・生活・健康・就職についての相談に応じたり、情報の提供を行い、学生を支援しています。



豊かな自然に囲まれ
充実した教育を受けられるって
最高だね!!



特集
三重大大学
法人化から
3年の歩み

教育学部

- ★学校図書館司書教諭
- ☆学芸員
- ☆認定心理士
- 【人間発達科学課程・人間発達科学コース】
- ☆幼・小・中・高教諭1種免許状

人文学部

- ☆図書館司書
- ★学校図書館司書教諭
- ☆学芸員
- ☆中・高教諭1種免許状

【凡例】
☆印:資格を取得
★印:申請資格を取得
◇印:受験資格を取得
◆印:受験一部免除

取得できる資格・免許

工学部

- ☆安全管理者
- ◆技術士・技術士補受験科目一部免除
- ☆ボイラー・タービン主任技術者(1種・2種)【機械工学科】
- ☆電気主任技術者1種【電気電子工学科】
- ◆電気通信主任技術者受験科目一部免除受験資格【電気電子工学科】
- ☆無線従事者免許【電気電子工学科】
- ☆毒物劇物取扱責任者【分子素材工学科】
- ◇一級建築士受験資格【建築学科】

医学部

- ◇医師国家試験受験資格【医学科】
- ◇看護師、保健師及び助産師国家試験受験資格【看護学科】
- ◇養護教諭2種免許

生物資源学部

- ★食品衛生管理者・食品衛生監視員【資源循環学科・生物圏生命科学科】
- ★測量士補【共生環境学科】
- ◇二級建築士受験資格【共生環境学科】
- ★樹木医補【資源循環学科・共生環境学科・生物圏生命科学科】

GP (グッドプラクティス)

グッド・プラクティス (Good Practice) とは、近年、国際機関の報告書等において「優れた取組」という意味で幅広く使われている言葉です。

文部科学省により、各大学などにおける大学改革の取組が一層推進されるよう、国公私立大学を通じた競争的環境の下で、極めて特色ある優れた取組を選定・支援するため公募が行われてきました。三重大がこの3年間に採択されたものを簡単にご紹介します。



特集
三重大学
法人化から
3年の歩み

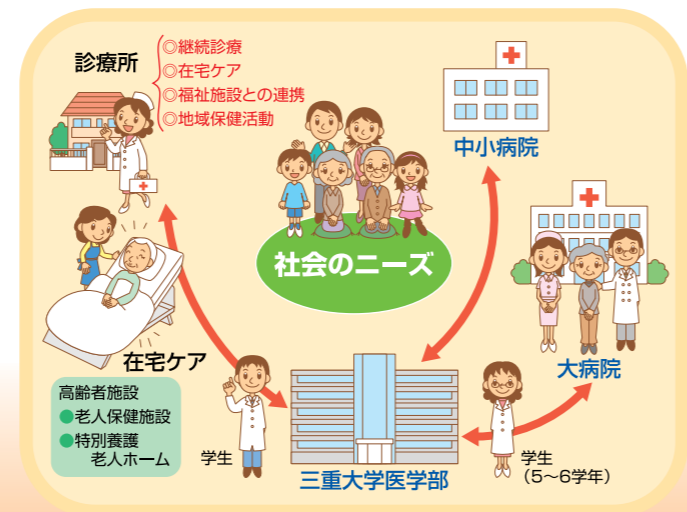
社会のニーズに即した人間性豊かな医師養成

特色GP

特色ある大学教育支援プログラム

平成16年度

地域社会の現場で、人間性と実践的臨床能力を養う医学教育の取組が、他大学にみられない先進的な優れたものとして、平成16年に特色GPIに採択され、以後その改善に努めてきました。3~4学年にPBLチュートリアルで問題解決レベルの知識を身につけ、5~6学年では診療参加型臨床実習で受持患者をもって実習しています。入学時からの計画的な教育の取組により、基本的な臨床能力をしっかりと身につけた人間性豊かな医師を養成しています。今後も更に改善を重ね、リサーチマインドをもつ人間性豊かな臨床医を育成します。



◎地域社会を学びの場とした診療参加型臨床実習◎

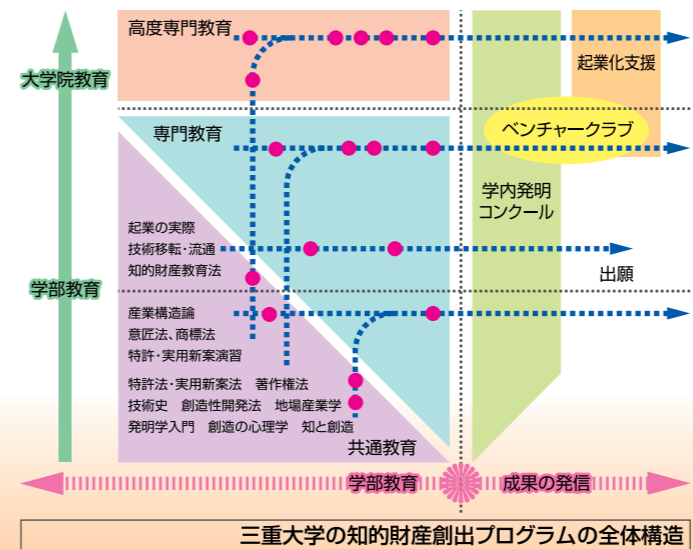
全学的な知的財産創出プログラムの展開

現代GP

現代的教育ニーズ取組支援プログラム

平成16年度

「知的財産教育」は、著作権や特許権といった法的知識を獲得することで、法律家を目指す人など一部のの人に必要な教育と思われるがちですが、そうではありません。三重大の取組は全ての学生を対象に、創造性開発から生まれた知的財産を元にした起業のノウハウまで知的財産教育に含めているのが特徴です。創造性に溢れ、知的財産を尊重し、さらには事業化まで目指す、やる気一杯の「知財マインド」を有した人材が育ちつつあります。



三重大学の知的財産創出プログラムの全体構造

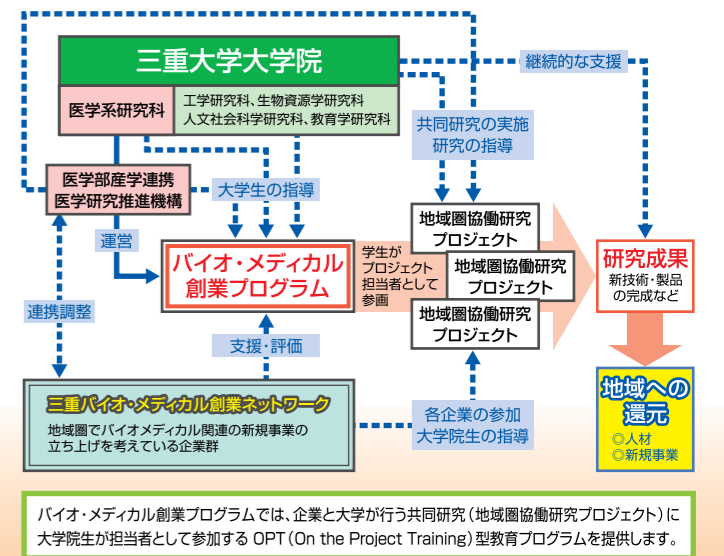
地域圏 バイオ・メディカル 創業人材の育成

派遣型高度人材育成プラン

平成17年度

バイオ・メディカル創業プログラムは、文部科学省派遣型高度人材育成協同プランへの採択を受け設置したものであり、医療系企業で新しいビジネスを創造する起業家タイプの人材を養成する修士課程プログラムです。企業と三重大が行う共同研究に学生を担当者として参加させる実践的な教育を行うことで即戦力人材を育成します。

詳しくは、大学院のホームページ (<http://www.medic.mie-u.ac.jp/med-link/MVPProgram/program.html>) をご覧ください。



バイオ・メディカル創業プログラムでは、企業と大学が行う共同研究(地域圏協働研究プロジェクト)に大学院生が担当者として参加するOPT(On the Project Training)型教育プログラムを提供します。

地域社会や国際社会で活躍できる人材の育成

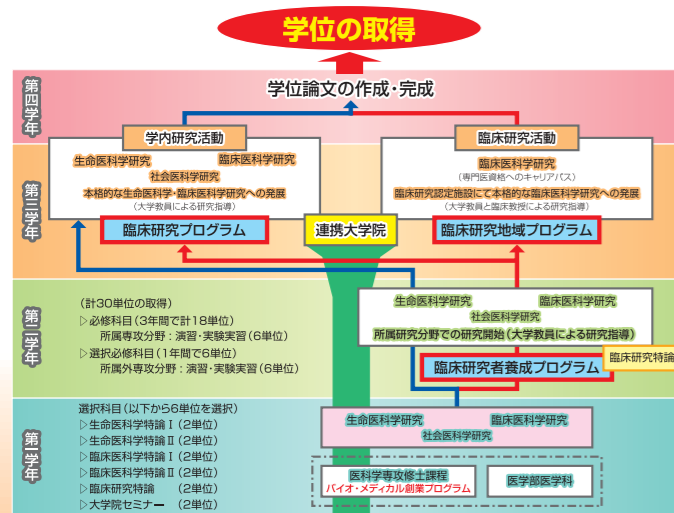
地域と時代に 応える 医学・医療 研究者の育成

魅力ある大学院教育イニシアティブ

平成
18年度

このプログラムは、二つの教育プログラムが柱になります。まず「臨床研究者養成プログラム」です。生命医科学研究の重要性は今後も変わりませんが、その成果を臨床につなぐトランスレーショナルリサーチや、臨床そのものをテーマとする研究者の養成を強化します。もう一つは、「臨床研究地域プログラム」です。大学院教育の場を地域に拡大し地域と関わりながら、高度な専門知識や能力を持つ臨床医を育てます。

詳しくは、大学院のホームページ (<http://www.medic.mie-u.ac.jp/gakumu/index.htm>) をご覧ください。



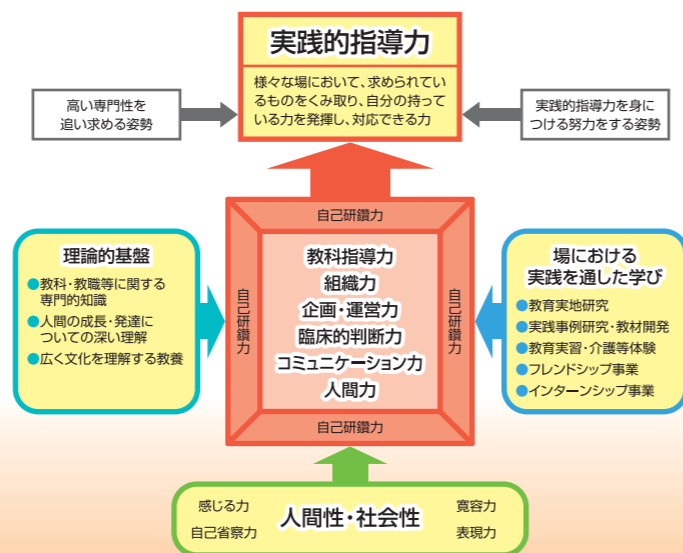
教育実践力の 育成と 学校・地域の 活性化

現代GP

現代的教育ニーズ取組支援プログラム

平成
18年度

教育学部に隣接する一身田中学校区の幼小中学校園と連携して、学生の教育実践力を高める取組と学校・園の教育活性化を目指した取組を行っています。平成18年度は中学校での理科学生の実験指導、家政科学生の調理実習指導、音楽科学生と中学生とのジョイント音楽祭の実施、英語・体育・理科・数学などでの公開授業（指導案検討を含む）、カルチャースクールの開催などを実施しました。

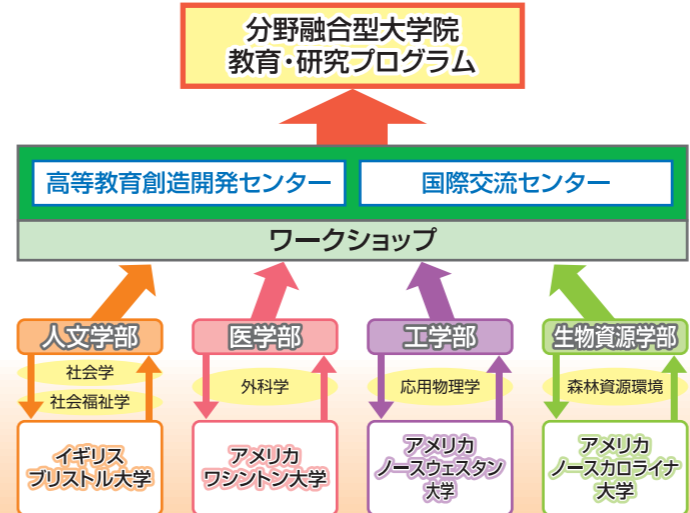


分野融合型 領域の 開拓に向けた 調査研究

大学教育の国際化推進プログラム
(海外先進研究実践支援)

平成
18年度

グローバル化が進み複雑化した世界に通用する、単なる専門家ではない学際的 (Interdisciplinary) ・分野横断的 (Transdisciplinary) ・国際横断的 (Transnational) な国際感覚を持つ指導的人材を養成することを目的に、「分野融合型領域の開拓に向けた調査研究」というテーマで全学から4名の教員を海外に長期派遣しました。今回の取組は、国際性と「分野融合・国際横断的思考、いわゆるシステム指向の考え方」を有する人材を全学的レベルで輩出することができる新しい大学院教育・研究プログラム開発のため中心スタッフの養成に向けたものです。



海外医学部と 連携した 臨床医学教育

特色GP

特色ある大学教育支援プログラム

平成
18年度

学部間協定に基づく大規模な学生交換事業を米国・中国およびアジア・アフリカの開発途上国 (タイ・ザンビア・タンザニア) の大学との間で実施し、国際性豊かな医療、医学教育の担い手を育成することを目的としています。特に途上国での実習では、地域医療と公衆衛生の原点を学び、命の大切さを感じることが学生に期待されています。詳しくは、医学部のホームページ (<http://www.medic.mie-u.ac.jp/gp/gp2006.pdf>) をご覧ください。



特集 三重大学医学部附属病院

変わる!

～未来の病院はこんな病院～

最近の医学・医療って、すごいスピードで進歩しているよね。そこで、三重大学医学部附属病院は、そんな時代の波をいち早くキャッチし、よりよい医療を実践するために、大規模な再開発計画を進めているんだよ。
 どんな病院になるか、知りたいでしょ？ 現在検討中の“変身計画”を、みなさんにご紹介するね！



基本理念

1. 患者様の信頼と満足が得られる最高・最良の医療を安全に提供する。
2. 地域医療に貢献し、医学・医療の国際交流に努める。
3. 未来を拓く臨床研究を推進し、次代を担う優れた医療人を育成する。

■ 建設計画

○構造・階数

I期(病棟・診療棟)	鉄骨鉄筋コンクリート造	11階建て (設備階を含め12階建て)
II期(診療棟)	鉄筋コンクリート造	4階建て
III期(外来棟)	鉄筋コンクリート造	4階建て

○病棟数 731床(現在) → 685床(計画)

○多床室 6床室中心 → 4床室中心

○個室率 約10% → 約31%

■ 整備期間

平成18年度	病棟一部改修、埋文試掘調査、基本設計
平成19～22年度	4年間 I期(病棟・診療棟)
平成23～25年度	3年間 II期(診療棟)
平成25～29年度	5年間 III期(外来棟)

(最後の1年間は外構・低層部取り壊しのみ)

*なお工事期間中も入院・診療は従来通り行う予定です。

未来はこんな病院に!!

A 患者さん中心の病院

安心・安全な治療が最適な環境で受けられる、**心和む病院**です。現在6人部屋中心の多床室が4人部屋中心となり、個室率も30%以上に。プライバシーも保たれ、IT機器も十分に利用できます。



患者学習センター

A 患者さん・面会専用エレベーター3台、ベッド搬送専用エレベーター2台を設置

A 移動効率をよくするために三角形の病棟に

E 最上階にレストラン

D 職場環境の優れた病院

全職員がチームとして連携を保ちながら、**楽しく働ける病院**です。セキュリティによる安全確保や各病棟フロアにカンファレンス室、シャワー付当直室等を配置するなどのアメニティの向上を行います。



E 各病棟フロアの海側に食堂を配置

A 十分な廊下幅のホスピタルストリート(メインストリート)

外来棟

A 明るく開放感のある待合を備えた各専門診療外来、各種特殊外来を効率的に配置

A 患者さんや家族からの各種相談を行う「医療福祉支援センター」

診療棟

A 館内の安全を守る「防災センター」

B ICU・HCU等からなる「総合集中治療センター」

↑救急入口

B 最先端医療が安全に受けられる病院

三重県で唯一の特定機能病院として、**患者さんに満足していただける高度先進医療**を実践します。最先端の癌治療、移植治療、血管内治療などが安全に行われます。そこで働く職員にとっても、やりがいのある病院です。



C 次世代の人材育成ができる病院

地域の方々から**信頼される医師を育てる**ための教育を行う、良医を育てる病院です。看護師、薬剤師、検査技師、医療事務員などの教育も充実しています。



E 立地条件を生かした病院

全国の国立大学附属病院のなかで、唯一**海辺にある病院**で、伊勢湾が一望できます。また、山側では鈴鹿山脈の眺望が楽しみ、患者さんには心地よい療養環境を提供します。



いよいよ平成19年度から第1期工事が始まります。ゴールは平成29年度の予定。ご期待下さい!!



変わる！

大学周辺整備

～キャンパスストリートづくり～

Campus Street

三重大学へは、最寄りの駅である近鉄江戸橋駅から江戸橋を渡り、国道23号線を通って行くんだけど、この「キャンパスストリート」、交通量が多いのに道路が狭く、車と自転車であふれ返ってゴチャゴチャしているんだ。緑も少ないから、「学舎(まなびや)」らしい風情もないし…。



そこで、三重大学、三重県、津市などが一体となって、学園都市にふさわしい景観を備え、かつ安心・安全なキャンパスストリートづくりを検討したんだ。どんな計画か、見てね！

ゾーン別整備方針

A 駅前ゾーン

- 起点・導入部の役割を担うエリアとして、総合的なインフォメーションやモニュメント等を設置する。
- バリアフリーに配慮した自歩道とイベント広場を整備する。
- 駐輪場整備などにより、歩道上駐輪を抑制する。
- 自歩道とイベント広場に四季を感じさせる花木を植栽し、維持管理には地域住民・学生のボランティア活動を導入する。



B 江戸橋ゾーン

- 駅前広場から国道へ誘導する重要な経路であることを意識し、道路全幅での修景(車道部を含めたカラー舗装化など)を行う。
- 電柱の裏配線などにより無電柱化を行う。
- 道路全幅を9.5mとし、北側に自歩道を設ける。
- 歴史と自然を感じるエリアとして、旧街道の歴史と志登茂川等の自然を感じる修景を行う。
- 常夜燈を活かした歴史を感じる休憩所を設け、旧街道や常夜燈に関するインフォメーションを設置する。
- 江戸橋を木橋の雰囲気を残した歴史を感じる橋として整備する。

C 国道ゾーン

- ゆとりを感じるエリアとして、歩行者と自転車の分離、電線・電柱の地中化、信号柱・標識・照明灯等の統合整理を行い、広がりのある空間づくりを行う。
- バス待合所のスペースを確保し、休憩と交流空間をつくる。
- 歩行者と自転車を分離した自歩道の整備、電線・電柱の地中化を行う。
- バリアフリーに配慮した自歩道等を整備する。
- バス待合所や自歩道の一定間隔にストーリー性のあるインフォメーションや案内標識を設置する。
- 歩道部に花木植栽を行い、歩行者に癒しと季節感を提供するとともに、維持管理には地域住民・学生のボランティア活動を導入する。



D 大学前ゾーン

- 大学の雰囲気を感じるエリアとして、自歩道に他ゾーンとは異なった落ち着いた色彩を採用する。
- 大学正門と市道を一体として修景整備し、大学のメインゲートを思わせる雰囲気づくりをする。
- 国道23号との交差点に、大学正門前の雰囲気をイメージしたモニュメント等を設置する。
- 南側に歩行者と自転車を分離した自歩道を設ける。
- バリアフリーに配慮した自歩道を整備する。

整備方針

1) キャンパスストリートの「趣」と交流空間づくり

- 舗装や道路付属物の色彩・デザインの統一や工夫により、キャンパスストリートの雰囲気づくりを行うとともに、歩行者と自転車の動線を明確にする。
- 屋外広告物の色、デザイン、大きさの基準を示すことにより、キャンパスストリートの雰囲気づくりを進める。
- 学生と地域の人びとが交流を深めることのできるような、広場やポケットパークの整備と、バス待合所の充実を図る。

2) 安全で安心な空間づくり

- 歩行者、自転車、自動車を原則的に分離するとともに、バリアフリーに配慮した歩道や広場、ポケットパークを整備する。
- ストーリー性のあるインフォメーションや案内標識、サインを設置する。
- 連続性を持たせた視覚障害者誘導用ブロックを配置する。

3) 歴史と花木の空間づくり

- 旧街道の歴史に触れることができるよう、歴史的なデザインの採用や、歴史的資源を活かした休憩場所とインフォメーションの設置を行う。
- 心と体を癒し、四季を感じる花木を植栽する。維持管理には、地域住民・学生のボランティア活動を導入する。

現状と課題

(三重大学周辺幹線道路景観検討委員会 渡邊理事・工学研究科建築学専攻浅野研究室【浅野助教・土屋尊司・福田剛史・堀内勇輔・渡辺亨】調査)



A 駅前ゾーン

- 歩道部の舗装がアスファルトで味気ないので、緑が少なく殺風景。
- 自転車が歩道部にはみ出し、歩行に支障をきたしている。
- インフォメーションや案内標識がないので、三重大学や大学病院への道順がわからない。
- 歩道に段差があり、バリアフリー対応となっていない。

B 江戸橋ゾーン

- 歩道がないうえ学生の通行量(歩行者および自転車)が非常に多いため、歩行者、自転車、自動車が錯綜し、危険な状態である。
- 案内標識がないので道順がわからない。
- 電柱や電線により、貴重な歴史的資源である常夜燈や江戸橋の歴史的な景観を損ねている。

C 国道ゾーン

- 氾濫する屋外広告物、塗装が劣化した横断歩道橋や老朽化したバス停留所等、景観を損ねる要素が多数ある。
- 自転車が通行できる歩道幅が確保されていないため、自転車が通行量の非常に多い車道を走らざるを得ず、危険な状態である。
- 視覚障害者誘導用ブロックが連続的に設置されていない。
- 病院利用者や高齢者、身体障害者の休憩場所がない。
- 歩行者用案内標識がなく、三重大学や大学病院の方向がわからない。
- 緑が少なく、快適性が不足している。

D 大学前ゾーン

- 国道23号交差点に三重大学正門をアピールするものがない。もっと大学前らしい趣とにぎわいのある雰囲気が必要。
- 学生はもとより車の出入りも激しい。歩行者と自転車および自動車が錯綜する状態となっている。
- 緑が少なく、大学内の緑との統一感がない。

えっくすくんから見た現在の「キャンパスストリート」



基本方針

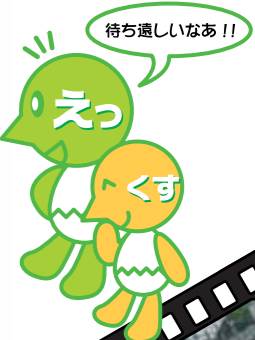
- キャンパスストリートの「趣」を感じ、学生と地域の人びとが交流を深める **空間づくり**
- 人に優しくわかりやすい、安全で **安心な空間づくり**
- 旧街道の歴史や四季を感じる花木に **触れる空間づくり**

三重大学周辺幹線道路景観検討委員会とは

三重大学周辺の幹線道路を、学園都市にふさわしい景観を備えた、また通学路等としての安全性を確保したものとすため、その整備の方針と計画について検討することを目的に、関係する施設の管理者によって結成されたもの。事務局は三重県津建設事務所を設置されています。

メンバー

- 三重大学 ● 近畿日本鉄道 ● 国土交通省
- 津市 ● 三重県



一人ひとりが輝く光となって社会で活躍中です。
 これまでに三重大学という学舎で育った卒業生は約55,000名、
 僕が「キラキラ卒業生」にインタビューしてきました。
 おたしの中、取材に協力いただいた卒業生がうれしそうに話していました。



SPECIAL EDITION

不可能を可能に



「昭和60年(1985年)日本一長い関越トンネルが開通」
 トンネルの中ではき出される大量の煤をどうやって処理したらいいのか。空気を汚さず、少しでも維持費を安くするためには? 私たち技術者は試行錯誤を重ね、「粉塵集塵機」を開発し、その結果、長さ11Kmにも及ぶ関越トンネルの建設が可能となったのです(このトンネル開通工事は、NHK放送番組「プロジェクトX」(2005年11月8日放送「悲願の関越トンネル発掘に懸ける」)にも取り上げられました)。

やってみないとわからない!

中学生時代、淡路島から明石海峡まで1,300m泳げると思った。学生時代、伊勢湾の向こうに知多半島が見えた。やっぱり泳げると思った。だから、泳いでみた。何もしていないのに、「できない」「無理だ」と、あきらめてはいませんか?

行動してみよう!

まずは、ちょっとやってみよう。難しく考えなくても、いいのです。一人ではできないことも、目標を一つにして、みんなで協力すれば、きっといい結果が出るはず。ダメだったら、またその時考えればいいのです。

学んでほしい大切なことは、

大学では専門的な知識の習得はもちろんですが、基本的なマナーや人とのつながりを大切にしてください。

大切なことですよ。朝の挨拶はしていますか? 落ちていたゴミ、見過ごしていませんか?



三重大学上浜キャンパスにて (三重県津市)

富士電機E&C
取締役

笹本
利治
Sasamoto, Toshiharu



File. 01

兵庫県生まれ。S48年三重大学工学部電気工学科卒業。学生時代に挑戦した「山登り」がきっかけで、信州松本工場を持つ富士電機(プランニング)就職。クリーンルームのフィルター装置制作に携る。現在は、富士電機E&C。

SPECIAL EDITION

ポリオが絶滅する瞬間を見たい!



世界保健機関(WHO)
西太平洋地域事務局
拡大予防接種事業課
医務官

佐藤
芳邦
Sato, Yoshikuni



File. 02

東京都生まれ。S54年三重大学医学部を卒業。同第一外科入局後、国際機関での仕事を希望し、周りの心配や反対を押し切って1988年から3年間ネパールに赴任。その後、1995年世界保健機関(WHO)西太平洋地域事務局拡大予防接種事業課に所属。

予防医学の重要性

ポリオ(いわゆる小児麻痺)のワクチンをご存じですか? 1回10円のポリオワクチンを3回投与するだけで、その発病が防げます。(私は、日本を含む西太平洋地域内37ヶ国の予防接種活動の技術支援などを行っています。なかでも「世界ポリオ根絶計画」の世界規模での完遂が、私にとって一番大きな仕事です。

日本に求められる支援

今後我が国が国際機関等において求められる支援は、「技術力や知識を使った支援」を軸として考える時期に来ているような気がします。

人間関係を築く

現在では大学卒業後に、国際社会で活動することが当たり前の時代になってきています。まさに、それまでの培ってきた様々な知識や人との交流が力を発揮するでしょう。

卒業後、三重大学を技術支援母体として、最新知識の供給源として、あるいは人との関わりの場として再度利用させてもらう事が確実に多くなるでしょう。そのためにも、在学中に自分の専門以外の様々な研究や活動にも積極的に広く関わってください。興味ある分野を広げ、知識の拡大を図ると共に、「人との関わり」を持つておくことはとても大切なことだと思います。クラブ活動も大きなチャンスです(ちなみに私の妻とは、クラブ活動で知り合いました)。人間関係の広がりや、人生の大きな手助けとなると信じています。

国際社会へ羽ばたこうとしているあなた!
私が待つ国際機関"WHO"で、「夢」を探しませんか?



関西国際空港国際線ターミナルにて (大阪府泉佐野市)

★ヒトの偉大さを再確認

トヨタ自動車株式会社
パートナーロボット開発部
第3設計グループ長

山田
Yamada, Koji
耕嗣

File. 03



大阪府生まれ。三重大学工学部に三年次編入。H2年三重大学工学部卒業。H4年同大学院工学研究科終了。H9年同博士後期課程（社会人入学）修了。H15年トヨタ自動車入社後、ロボット開発部門で活躍。

2005年に開催された「愛・地球博」で大活躍したパートナーロボットをご存じの方は多いと思います。私は、その開発に携わりました。

「ロボット」とは？

「ロボット」と一口に言っても、モノづくりの産業ロボットを始め、人の生活をサポートするパワーアシストロボットまでその形態は様々です。

人間は、考える

人間は考えながら行動します。3歳児の知能でも、すでに自分で考えて行動することが可能となっています。ロボットは、決められた作業の作業量やスピードはヒトと比べものにはなりません。が、「あれを、取って」と頼んでも、「？」。代名詞は通用しません。そして、データが多いほど、ロボットが行動を起こすまでの時間は長くなってしまいます。

ロボットと共に創る

ロボットのリスクがどこまで認められるか。
ヒトはしばしばミスをしますが、「人間やから、間違いもあるよ。」と許されますよね。ところが、お手伝いロボットが家の中で暴れ出してしまったら、どうやって止めればいいでしょう？もし、ロボットカーが暴走したらどうなるでしょう？
その安全性とルール作りが求められています。その上で、ヒトとロボットの共生できる未来を創っていきたくと思っています。



トヨタ会館 パートナーロボットと
(愛知県豊田市)

単位を取るため、とにかく思いっきり勉強しましたね。でも、遊ぶ時はしっかり遊ぶ。「時間」は有効に！

★「人形」と、そしてそれを観てくれる「ひと」が好きです



お茶と人形劇の専門店
「茶問屋 ショーゴ」
【URL】 <http://www10.ocn.ne.jp/~shogo.tp/>

横山
Yokoyama, syogo
昭吾

File. 04



静岡県生まれ。S56年三重大学農学部を卒業。実家で「茶の栽培」をすると共に、北は北海道から、南は沖縄まで、日本各地で人形劇の公演を行っている。

人形劇。あまり、聞き覚えがなくても、「ひょっこりひょうたん島」と言えば、「ああ…」と、頷かれる方も多いのではないのでしょうか。

「つくし」との出会い

今でも三重大学では、人形劇団「つくし」というサークルが活躍しています。私は4年間の大学生活をこのサークルでとても楽しく有意義に送りました。卒業後、実家の茶業を継いだのですが、学生時代の「人形劇」が忘れられず、人形劇団を結成しました。以来、おいしいお茶づくりに取り組みながら、人形劇フェス参加や、頼まれて日本各地に公演に出かけています。

人形劇の魅力

人形劇のおもしろさはとても一言では言い表せません。私の中で、人形たちがいきいきと活動します。そして、子どもも大人も一緒に笑ったり泣いたりしてくれます。子どもたちは、人形たちが現れるだけで、「ウフフ」ってうれしくなるようです。

2足のワラジ生活

最高に贅沢なライフスタイルなのでしょうね。私が住んでいる「静岡県牧之原市」は日本でも有数の茶の産地です。夫婦で営む「お茶と人形劇の専門店 茶問屋 ショーゴ」が私の生活です。夏までは緑っぱいの畑でおいしいお茶作りに専念し、お茶作りが終わる頃から今度は人形とともに大好きな「ひと」と出会うことができます。いつか、「じいじとばあばの人形劇団」と呼ばれるようになるかもしれません。

ほんの小さな「出会い」が、あなたの人生を豊かなものにしてくれるかもしれません。



「茶問屋 ショーゴ」の茶畑にて
(静岡県牧之原市)

★ 心豊かな「女性」を育てる

File. 05



伊藤 和美
Ito, Kazumi

セントヨゼフ女子学園
高等学校中学校
教諭

三重県生まれ。S59年三重大学教育学部卒業。中高一貫教育の女子高で「美術科」を担当。

「造る」楽しみを

ものを作ることで、難しいことだと思いませんか？

私は小学校の「図工」の授業で、紙粘土、カッター、のり、はさみなどを使って、「ものづくり」の楽しさと感動を教えてもらいました。

自然から学ぶ

自然には、理科から学ぶ自然観察があれば、心や体で感じて学ぶ自然もあります。

美しいものを美しいと感じることは、人の心を豊かにしてくれます。

美しい風景や、何気ない日常の生活の中で得られた感動は、個々の人生観や価値観に大きな影響を与えるでしょう。

自然が育てる「優しい心」

私は子供たちに肌で季節を感じ、「自然」と実際にふれあってほしいと思います。豊かな自然の恵みは、きっと、優しい心を育ててくれることでしょう。

自立し、社会に出て貢献するとともに、「母」となる女性を育てていくことが、私に与えられた使命だと思っています。



セントヨゼフ女子学園高等学校美術室(三重県津市)

Communicationを大切に、実際にふれあってみてください。素晴らしい出会いがあると思います。

★ 人と、人とのつながりを大切に

File. 06



小林 明
Kobayashi, Akira

(株)百五銀行 上野支店
支店長代理

三重県生まれ。S63年三重大学人文学部卒業。同年(株)百五銀行入行。卒業後、人文学部同窓会副会長として、卒業生と大学との重要なパイプ役を務める。

キャプテンとして

学生時代、バスケットボール同好会のキャプテンとして、チームをまとめていました。いつも練習用のコート確保に苦労していました。ある時、「清里合宿」の企画を任せられ、張り切りすぎた私は、練習に重点を置きすぎてしまいました。実は、その内容はメンバーが期待していたものとは異なっていたのです。

気持ちを理解する

自分がいいと思ってもそれだけではダメなのです。

学生時代での様々な失敗や体験は、私のその後の人生に大きな財産を与えてくれました。卒業後、私は「銀行マン」という職業に就き、緻密さとともに、人の気持ちをなにより理解し、大切にすることを求められました。学生時代に培われた仲間意識、また課外活動でのリーダーシップや責任感などは、社会に出てから、大いに私の力となったのです。

情報化時代の中で

今は、顔と顔を合わせずとも用が済んでしまいます。それだからこそ、私はなによりもお客様との対話を、一番大切にしています。



百五銀行 上野支店(三重県伊賀市)

学生時代のチャンスを活かし、いろいろな資格や技能を身につけることをお勧めします。

★ 自分探しからの挑戦

File. 07



萩 美香
Hagi, Mika

2007年度ミス日本

三重県生まれ。H18年三重大学人文学部卒業。立教大学大学院進学。2007年度ミス日本グランプリ。

挑戦!

22年間、三重県から出たことがなかった私でしたが、大学院進学のため東京へ。初めての1人暮らしで味わったのは、自信喪失と挫折でした。このままではいけないとチャレンジしたのが、3回目のミス日本コンテストの応募でした。

変身!

地区代表グランプリで選ばれたあとは、ミス日本グランプリに向けて「能」による所作・立ち居振るまいなどの「勉強会」の日々でした。自ら求め努力することにより「自分が変わっていく」ことが出来たように思います。

また、私が何より関心のあるものはボランティア活動。三重大学では、スペシャルオリンピックスの企画で、リーダーを務めました。うれしいことに、このミス日本の活動にも、ボランティア活動が含まれています。

未来を切り拓く

今後は、ミス日本として、日本文化の神髄をみなさんに伝えていくことが私に与えられた使命です。そして、このチャンス



ミス日本授賞式(東京都)

を活かして、自分自身の手で新たな未来を切り拓いていきたいと思っています。

「自分から」探してみてください。きっと、何かを感じる事が出来ますよ。

第10回 環境コミュニケーション大賞で 優秀賞

このたび、三重大学として、初めて作成・公表した「環境報告書2006」が優秀賞（環境配慮促進法特定事業者賞）を受賞しました。作成に携わった学生委員会をはじめ教職員は心から感謝しています。この受賞を励みとして、平成19年度内に環境ISO14001の認証取得を目指して努力するとともに、「環境方針」に掲げたとおり、「環境マインドの高い」学生を多数輩出することのできる大学づくりに邁進したいと願っています。総括環境責任者 理事・副学長 渡邊悌爾



環境ISOキャラクター「まもる」

えっくすくん おしえて

* 環境 *



JABEE認定技術者教育プログラムの
修了者は「修習技術者」になれ、
技術士の一次試験が免除されるんだよ。



Q1 ISOとは?

ISOとは、International Organization for Standardization (国際標準化機構)の略称で、主に製品の規格を決めています。あくまでも任意規格ですが、全世界の国と地域の約7割以上が会員となり、国内規格として利用しています。日本国内においては、JIS (日本工業規格)として国内規格化されています。

Q2 ISOのマネジメントシステムとは?

ISOの規格のほとんどが製品規格ですが、製品の規格を定めるだけでは、規格以上の品質を期待するのは難しく、また、納期内で一定の数量の製品全てが企画値内に収まることを保証できない状況が生じてきました。そこで、製造・管理の仕組み (マネジメントシステム) 自体を規格化しようと、品質のマネジメントシステム (ISO9001/9002/9003:1987) が誕生しました。



三重大学人文学部文化学科・教授
三重大学環境ISO推進室・室長
みえ環境県民運動協議会・代表
理学博士

朴 恵淑

Park, Hye-Sook (Keisyuk)

[URL] <http://www.human.mie-u.ac.jp/~park/>

Q3 では、ISOのマネジメントシステムはどんな仕組みですか?

一般的にはPDCAサイクルと呼ばれ、『Plan (計画) → Do (実施) → Check (点検) → Act (活動)』の順で業務を回していく事により、目標を確実に達成していく仕組み、すなわち「目標管理制度」が取り入れられ、これを組織で実施していくことです。

そして、さらに精錬されたシステムになるよう改善を繰り返す (継続的改善)、このPDCAサイクルをスパイラルアップしていくことが、ISOのマネジメントシステムにおける基本的な考え方の一つです。

特に重要な点は、組織のトップ自らが目標を示し、その達成状況を見直し、改善を図るといったトップダウンを行う部分です。

Q4 ISO14001について教えてください。

ISO9001と同じ基本的な考えに基づく「組織が重要な環境項目を決定し管理していく」といったマネジメントシステムです。ISO9001が企業間取引上の問題から生み出されたのとは異なりISO14001は、地球サミット (ブラジルのリオデジャネイロ、1992) で採択されたアジェンダ21をフォローする目的で規格化されました。

さらに、現在はISO26000 (社会的責任 [SR]*に関する規格)の規格化が進行しており、環境も含めた、社会に対して果たすべき責任を明確にしていこうという動きもあります。

現在、世界中では10万件以上の認証登録があり、日本においては、世界で最も多い約2万件の認証件数を誇ります。

*SR (Social Responsibility) : 社会的責任のこと。一般的には企業の社会的責任 (CSR) として普及していますが、企業のみでなく、大学の社会的責任 (USR) が叫ばれるようになってきました。

* 大学の社会的責任 (USR) を果たす三重大学の取組 *

環境教育の積極的推進による環境マインドの高い学生の育成・環境研究の充実化・産学民官の協働による社会貢献を推進している三重大学は、2007年度のISO14001の認証取得を目指しています。

ISOのマネジメントシステムにはどんな種類がありますか?

ISO9001 : 製品品質に関するマネジメントシステム規格。ISO14001 : 環境に関するマネジメントシステム規格。ISO9001のセクター規格として、自動車業界用のQMS (ISO16949)、医療業界用のQMS (ISO13485)、試験所用のQMS (ISO17025) など。その他、食品安全マネジメントシステム (FSMS) ISO22000、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) ISO27001 など。

Q1 JABEEとは?

JABEEとは、Japan Accreditation Board for Engineering Education (日本技術者教育認定機構)の略称です。国際的に通用する技術者を育てることを目指し、教育の質を保証する仕組みを作る目的で、非政府団体、JABEEが設立 (1999年) されました。

Q2 JABEEの目的は?

JABEEの目的は、「統一的基準に基づいて高等教育機関における技術者教育プログラムの認定を行い、その国際的な同等性を確保し、技術者教育の向上と国際的に通用する技術者の育成を通じて社会と産業の発展に寄与すること」です。JABEEは、品質のマネジメントシステムの認証を行うISO9001の教育版といえます。



三重大学大学院
工学研究科機械工学専攻・教授
共通教育センター実践教育副部門長
工学博士

野村 由司彦

Nomura, Yoshihiko

[URL] <http://www.robot.mach.mie-u.ac.jp>

Q3 技術者教育とは?

「技術者教育」とは、数理学、エンジニアリング・サイエンス、情報技術などの知識・手法を駆使し、社会や自然に対する影響を予見しながら、人類の生存・福祉・安全に必要なシステムを研究・開発・製造・運用・保全する技術者等のための高等基礎教育であり、工学教育、理学教育、農学教育などを含む幅広い概念です。従来、「工学教育」が知識教育に偏重しがちであったとの反省から、「技術に関わる“人”を育てる」という視点を重視して、「技術者教育」という言葉が選ばれました。

Q4 JABEE認定とは?

公開の原則のもとで、カリキュラム、教育方法、教育設備・環境、教員、PDCAサイクル等を含む教育システムから、在学生・修了生の修学達成度、社会も含めた教育満足度まで、認定基準が定められています。JABEEが教育プログラムを審査し、修了生の質の保証レベルが認定基準を満たすときに、認定プログラムとして公表します。

Q5 JABEEの学習・教育目標とは?

JABEEは、従来の大学教育にない全人的な観点で水準保証と改善を問うています。以下に、教育プログラムが具備すべき学習・教育目標を示します。

- 地球の視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- 技術者として社会に対する責任を自覚する能力
- 数学、自然科学、情報技術に関する知識とそれらの応用能力
- 専門技術の知識と問題解決への応用能力
- 種々の科学・技術・情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- 論理的な日本語記述力、口頭発表力、国際的にも通用するコミュニケーション基礎能力
- 生涯にわたって自発的に学習する能力
- 制約下で計画的に仕事を進め、まとめる能力

● JABEE認定プログラム ●

【工学部】

◎機械工学科
「機械工学科プログラム」
<http://outsv.ss.mach.mie-u.ac.jp/~jabee/>

【生物資源学部】

◎生物圏生命科学科
「生物圏生命科学技術者教育プログラム」
◎共生環境学科地域保全工学講座
「農業土木プログラム」
<http://www.bio.mie-u.ac.jp/news/2006060201/>

附属病院から

三重大学産科オープンシステムを運用開始しました

産科オープンシステムとは、正常妊娠の妊婦健診を一般病院または診療所で行い、分娩は周産母子センターなど基幹病院で行うという、新しいシステムです。三重大学医学部附属病院では、三重県から委託を受けて準備を進め、昨年12月に当システムの運用を開始しました。

妊婦さんには、手軽に健診を受けたり、安心して分娩できるなどといったメリットがあります(表1)。このシステムによって、産科医のマンパワーを有効活用でき、さらに、オープン病院の医師や看護スタッフと登録医が定期的に症例検討会を行うことによって、両者の医療レベルの向上が期待されます。

我々は、当院の多数の専門医達の持つマンパワーに裏打ちされた、より大きな安全体制を提供し、これを通じて地域医療に貢献したいと考えております。

どちらのシステムを採用しているかは、かかりつけの病院によって違います。

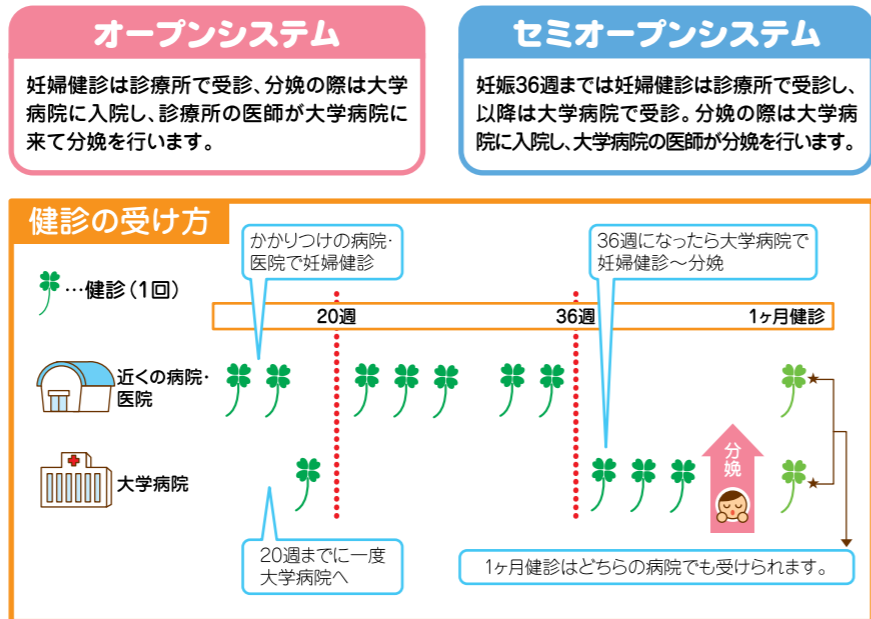
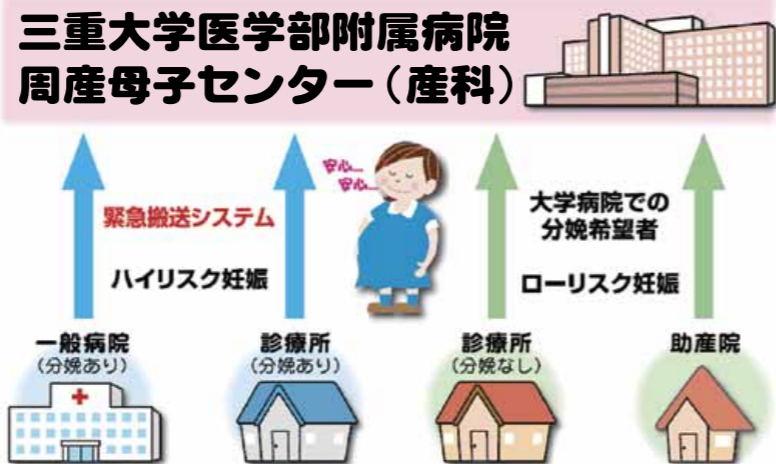


表1 オープンシステムによる妊婦さんのメリット

- [1] 妊婦健診は近くの病院・診療所で手軽に受けることができます。
- [2] オープンシステムに登録している診療所なら、分娩も診療所の医師に立ち会ってもらうことができます。
- [3] 設備やスタッフの揃った大学病院で分娩することにより、分娩時に何か起こった場合にも各科の医師が対応できるので安心です。
- [4] 妊娠中・産後も紹介元の先生だけでなく、必要に応じて大学病院も受診できるので便利です。



図書館から

三重大学のインターネット上の知の宝庫「MIUSE (ミューズ)」で研究教育成果を世界へ!



三重大学学術機関リポジトリ研究教育成果コレクション「MIUSE (ミューズ)」(=Mie University Scholarly E-Collections)は、三重大学の研究者が発表した研究論文や報告書などの全文を蓄積し、無料で公開するインターネット上の知の宝庫です。

「MIUSE」で公開されたコレクションは、Googleなどで検索できるようになるので、探しやすくなります。

三重大学では、今後「MIUSE」を通じて、積極的に研究教育成果を地域の皆様、そして世界へ向けて発信していきます。ぜひ一度アクセスしてみてください。

<http://miuse.mie-u.ac.jp/>



附属幼稚園から

園児が大喜びの楽しいイベント

附属幼稚園では、四季折々に楽しいイベントを開催しています。今年度は、次のようなイベントを開催しました。

- 春** (6月) カレーパーティー
自分たちで栽培した野菜を使って、小学校1年生のお兄さんとお姉さんを招きました。
- 夏** (8月) 夜の幼稚園
夜店や盆踊りを楽しんだ後、三重大学のお兄さんとお姉さんとともに、幼稚園内を探検しました。
- 秋** (10月) 運動会
自分たちで準備し、実習生も参加しました。
- 冬** (12月) サンタさん来園

*ALT: 語学指導の補助を行う外国人指導助手

12月19日(火)に、突然、附属幼稚園の屋根の上に大きな袋を肩にかけたサンタさんが現れました。見つけた子どもたちがみんなに知らせたので、園内は大騒ぎ! 子どもたちは、「サンタさん、ありがとう!」と話しかけたり、「あれは絶対ケビンさんや!」(幼稚園に来てくれているALT*)などと興奮しながら、サンタさんが降りてくれるプレゼントを楽しみに待っていました。

ちなみに、プレゼントの中身はゼリーケーキなどのお菓子とコマ。お菓子を分ける時、年少児は1個ずつ、年中児はいくつずつにするという考えながら分け、年長児は大きなゼリーケーキを自分たちで切り分けていました。

園児は大騒ぎ! 子どもたちは、「サンタさん、ありがとう!」と話しかけたり、「あれは絶対ケビンさんや!」(幼稚園に来てくれているALT*)などと興奮しながら、サンタさんが降りてくれるプレゼントを楽しみに待っていました。



園児は大騒ぎ! 子どもたちは、「サンタさん、ありがとう!」と話しかけたり、「あれは絶対ケビンさんや!」(幼稚園に来てくれているALT*)などと興奮しながら、サンタさんが降りてくれるプレゼントを楽しみに待っていました。

園児は大騒ぎ! 子どもたちは、「サンタさん、ありがとう!」と話しかけたり、「あれは絶対ケビンさんや!」(幼稚園に来てくれているALT*)などと興奮しながら、サンタさんが降りてくれるプレゼントを楽しみに待っていました。

平成18年12月17日
三重大学吹奏楽団
「ぼかぼかコンサート」

クリスマスソングの演奏に合わせ、サンタクロースとトナカイに扮した団員が踊ったり、観客と一緒に「浜千鳥」を合唱したりと、文字通り「ぼかぼか」なコンサートとなりました。



上山氏による講演

平成19年1月18日
「レジ袋有料化」シンポジウム

イオン(株)環境社会貢献部の上山部長を講師に迎え、「イオン(株)におけるレジ袋削減の取り組み」について講演していただきました。本学からは、人文学部の朴教授により、昨年6月に行った「三重大学におけるレジ袋削減に関するアンケート調査」の結果が報告されました。



三重大学の教員が執筆している本の一部ですぜひ読んでみてください



『数学大好きにする「オモシロ数学史」の授業30』

「理数難れ」、「数学嫌い」が社会問題化している中、数学に興味や関心を持って勉強してもらいたいという思いは、数学教育に携わっている者の共通した気持ちです。この本は、数学史を活用することによって、数学への興味・関心を高め、数学の面白さ・楽しさを感じ取れるような授業を作るための材料を提供しようとしたものです。
著者／上垣 渉(三重大学教育学部数学科・教授)
定価／2,260円(税別)
詳しくは、URL <http://www.meijitosh.co.jp/shoseki/shosai.html?bango=5036>

ただいま好評発売中

平成18年12月16日
第40回
三重大学ギタークラブ
定期演奏会

「星に願いを」「となりのトトロ」など、馴染みのある曲が演奏され、観客はギターの合奏・重奏・独奏の魅力を堪能しました。



平成18年12月12日
共通教育特別講演会

シンガーソングライター入日 茜さんを講師に迎えて、「音楽を通じて語る 生きること、働くこと、人とのつながり」をテーマに、ライブ演奏を交えながら共通教育特別講演会を開催しました。やさしい彼女の歌声とピアノの調べとともに、体験談をとおり、「豊かな人間関係」の大切さを訴えました。



「三重大ピアサポート」
楽しい学生生活サポートします!

所定の研修を受けた三重大生らによる、三重大生のためのサポート活動の一つとして、昨年より昼食時間を利用したイベント「おかし交換会」を実施。サポーターや学生らがお弁当を持ち寄り、コミュニケーションを図っています。

平成19年1月19日
学生による
日本酒造り

津市観光振興課による企画で、生物資源学部の学生10名が、津市内の酒造会社「寒紅梅酒造」で日本酒造りをしました。産官学連携の全国初の「蔵人体験モデル事業」です。学生たちは、継続して仕込み作業やラベルづくりを行い、新製品として発売される予定です。



米麹になる前の蒸し米

平成19年1月15日
海村・須賀利に学ぶものⅡ
須賀利シンポジウム&写真展

高齢化が進む漁村・須賀利町(尾鷲市)をテーマにしたシンポジウム「海村・須賀利に学ぶものⅡ」が開かれ、須賀利に学ぶものⅡが開かれ、住民と研究者、学生ら約100名が参加し、漁業の活性化や地域看護について討論しました。



information
えっすくん
気になる
ニュース
NEWS



みえ音楽コンクール
入賞者記念演奏会Vol.8

昨年10月に開催された「第12回みえ音楽コンクール」ピアノ部門に、本学からは教育学部附属小学校をはじめとする多数の入賞者を出しました。4月22日に開催される「入賞者記念演奏会」に、本学から2組が出場します。ぜひご来場ください。

- 日時：平成19年4月22日(日) 13:30開場、14:00開演
- 場所：三重県文化会館(全席自由 1,000円)
- 出演：小村あづさ・大久保友加里(ピアノデュオ：教育学部2年)、大串桃子(ピアノソ：大学院教育学研究科1年)

他15組



平成19年2月10日
「東海アンサンブルコンテスト」で金賞!

東海アンサンブルコンテストで、三重大学吹奏楽団から木管五重奏と打楽器六重奏2組が出場し、どちらも金賞を受賞。また、打楽器六重奏は「東海代表」の栄冠も併せて受賞し、3月21日横浜みなとみらいホールで行われる、「第30回全日本アンサンブルコンテスト」に東海代表(大学の部)として出場します。
URL <http://www.ajba.or.jp/ensemble30.htm>

平成19年3月15日 詳しくは、
URL <http://www.crc.mie-u.ac.jp/saiji.html#saiji.28>



第1回 技術教育創造の世界
発明・工夫作品コンテスト

主催：日本産業技術教育学会

- 受賞作 「スキークを用いた遠隔環境計測・制御教材」
- 受賞 脇出素代さん(三重大学教育学部4年)



第1回「文部科学大臣による優秀教員表彰」に輝く
平成18年度三重県文化賞(文化奨励賞)



音楽の授業を担当し、音楽部の顧問として合唱の指導を行ってきた三重大学教育学部附属中学校・川島雅樹教諭が、表彰されました。

平成18年12月19日
第4回
患者に学ぶ看護講座

「化学物質過敏症の少女からのメッセージ
～三重大学のみなさんへ～」

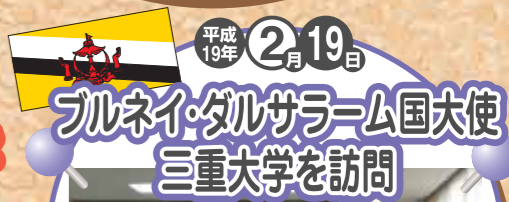


昨年春、看護学科1年生が講義で書いた手紙が、テレビ朝日系列「素敵な宇宙船 地球号」出演中の梅原万海花さん(18)に届き、万海花さんの母親(梅原久仁子さん)が彼女のメッセージを携え本学へ「化学物質過敏症の現状」等の講演に来てくれました。

平成19年2月19日
ブルネイ・ダルサラーム国大使
三重大学を訪問



工学部の今井教授(右下写真)が設計指導を行った、多気郡佐奈小学校の新校舎が完成しました。



ブルネイって、石油や天然ガスなどの資源を多く埋蔵している豊かな国で、面積が三重県と同じくらいなんだった。

「花粉情報」をご利用ください

三重大学医学部附属病院耳鼻咽喉科では、今年2月1日より花粉飛散予報や花粉飛散情報など「花粉情報」のお知らせを開始しています。URL <http://www.medic.mie-u.ac.jp/kafun/>



伊賀流忍者博物館

～THE NINJA WORLD～



▲伊賀流忍者博物館

▼ドンデン返し。
敵から身を隠すための工夫。



忍者屋敷には、
忍者の生活に密着した
工夫がいっぱい。とても
面白くてござるよ！

3月24日から5月6日まで
「伊賀上野NINJAフェスタ2007」
が開催されるよ。忍者の衣装に
身を包み、忍者の世界を
覗いてみよう！

手裏剣は、
実はすごく重いの、
少ししか持ち歩きません。
先端に毒を塗り、
一撃で相手を仕留める
のでござる！



谷蔵

伊賀上野観光情報紙「いがぐり」の
マスコットキャラクター
いがぐりくん
<http://www.igaguri.net>

かと丸



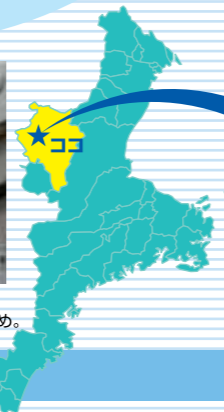
▲忍者アクション
ショーも人気です。真
剣で巻き藁や竹などを
切る姿は、かなり本格
的で大迫力！(別料金)
※開催日時は当博物館まで
お問い合わせください。



▲この切れ味を見よ！



▲忍者刀
四角い柄で直刀なのは、塀を乗り越えたり急所を刺すため。



伊賀流忍者博物館

- 所在地/伊賀市上野丸之内117
- お問い合わせ/Tel.0595-23-0311
- 開館時間/午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日/年末年始
- 入場料/大人700円、小人400円
- 【ホームページ】<http://www.iganinja.jp>

加藤 良明(三重大学生物資源学部 共生環境学科2年) / 谷口 祐司(三重大学工学部 機械工学科4年)

クラブ・サークル | 三重大大学バドミントン部



試合風景▲



滋賀大学との定期戦を終えて(2006年6月4日、三重大学第1体育館にて)▲

抜群のチームワーク!

我がバドミントン部の部員達は、皆それぞれが個性的です。それでも練習や試合など、いざというときにはチーム一丸となって皆でがんばっていただける、そんな部活です。

仲間と築く「絆」

練習のテーマは、「楽しく強くなる!」。厳しい練習も、お互い支え合いながら日々こなしています。その中で生まれる深い「絆」は、とても貴重だと思います。その他にも、定期的に他大学と交流試合をしたり、部活の先輩や社会人の方々にご指導いただいたりと、様々な「絆」を育んでいます。

あなたも、私たちと一緒に大切な時間を過ごしてみませんか?

代表 水野 貴誠

(三重大学工学部 情報工学科 2年)
【HP】<http://miebad.client.jp/>

クラブ・サークル | アメリカンフットボール部 「SEASERPENTS」



Just do it!▲

アメフトは、日本では以前はあまり知られていませんでしたが、最近では、マンガやアニメに取り上げられ、人気が高まってきました。そんなアメフトの醍醐味は、体力・知力のぶつかり合いとチームワークです。ルールはちょっと難しいで

すが、一度知ったらやみつきになること間違いなし! 僕たちメンバーも、大学から始めた人がほとんどです。

昨年11月23日、四日市大学との入れ替え戦で勝利し、念願の東海1部リーグに昇格しました。試合中は、チームの気迫と観客の声援が交じり合い、そこでしか味わえない雰囲気を楽しみました。そして、最後には今まで経験したことがないほどの勝利の喜び!!

学生にしか味わえない青春の1ページを、僕たちとともにめくってみませんか。今までより手強い相手ばかりと戦うことになりましたが、東海NO.1を目指し、熱く、そして楽しく日々練習に励んでいます。今年のチーム目標は「4強崩し」、スローガンは「挑戦・飛躍」です。アメフトに興味のある人は、ぜひいつでも練習を見に来てください。待っています!



東海1部リーグに昇格決定直後の1枚。喜びの絶頂!▲

主務・副将 中村 翔一

(三重大学生物資源学部 共生環境学科 2年)
【HP】<http://www.geocities.co.jp/Athlete/2200/>

三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。
 地域企業人対象の新たな大学院の整備、地域企業とのインターンシップ・ネットワーク構築、地域医療に貢献する仕組みの確立、自治体・大学連携による国際防災ボランティア事業の推進など、多くの事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

● 募金の方法 ●

三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください（FAX・E-mailでもOKです）。



ご郵送先・ お問い合わせ先	三重大学振興基金事務局 【総務部総務チーム内】 〒514-8507 津市栗真町屋町1577	TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000 E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp URL: http://www.mie-u.ac.jp/fund/index.html
------------------	--	---

お願い

★メールマガジンご購読のお願い★

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています（発行：毎月末）。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。
 皆様のご登録を心からお待ちしています。

【配信申込み方法】

- 次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。
- 1.メールのタイトルに『メールマガジン希望』と記入する。
 - 2.メールの本文に、下記の事項を記入する。
 - ①「保護者」もしくは「一般」
 - ② お住いの都道府県
- koho@ab.mie-u.ac.jp**
- 携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただきますので、できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。



お願い

アンケートに答えて



「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。
 アンケートにお答えいただいた方には、「えっくすくんわいわいストラップ」をお送りします。どしどしお寄せください。（締切：4月末）

*なお、お寄せいただいた個人情報、景品発送のみに使わせていただきます。

→「えっくすくんわいわいストラップ」ご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきに必要な事項をご記入の上お送りください。

歴史街道シリーズ

宇治橋

▼川曳風景。五十鈴川の中を浦田橋から内宮神域内まで、そりに乗せたご用材を曳いています。



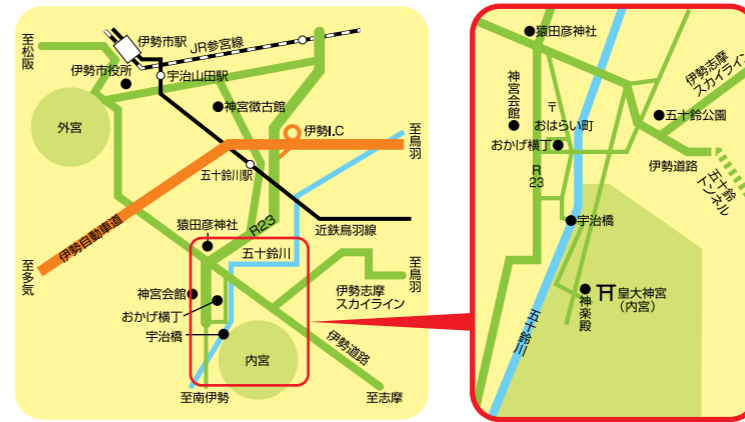
▲おかげ横丁

菅原 洋一 助教

伊勢路も春を迎えました。参宮が特に盛んだったのはかつては新年から田植え時まで。参詣者の多くを占める農民にとって、陽光が次第に輝きを増す、農閑のこの時期が旅の好機でした。庶民の旅が困難を伴った時期に、伊勢への旅は計り知れない出会いや実りをもたらしたことでしょう。宇治橋を渡れば旅の願いも叶います。

いま、伊勢では「式年遷宮」の準備が進められています。5月4日からご用材を内宮・外宮に運ぶ「お木曳」は、町は活気にあふれます。二十年ごとに繰り返される遷宮は、絶えることなく受け継がれ、よみがえる生命の不思議さを感じずにはいられません。

- *1 20年に一度、神宮（伊勢神宮）の御正殿をはじめ、神宮すべての神殿や神宝を新しく作り替え、ご神体を神宮に遷すお祭りのこと。第62回式年遷宮は、平成25年（2013年）に開催される予定。第1回目は持統天皇4年（690年）に行われ、戦国時代などの中断期を除き、1300年にわたって実施されている。
- *2 木曾から運ばれてきた遷宮のご用材を、伊勢の町衆が「川曳」「陸曳」で奉曳して、内宮・外宮へと運び込む行事のこと。



詳しくは、「伊勢神宮式年遷宮広報本部公式ウェブサイト」
<http://www.sengu.info/index.html>
 をご覧ください。

本誌お問い合わせ先

三重大学総務部広報チーム
 〒514-8507 津市栗真町屋町1577
 TEL 059-231-9789
 FAX 059-231-9000
 ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
 E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp
 *ご意見をお寄せください。

三重大 X[えっくす] vol.9

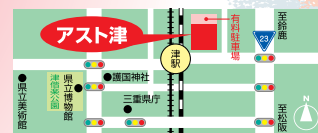
平成19年3月1日発行
 ●発行／三重大学広報委員会
 ●編集／三重大学広報室
 ●印刷／有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp
 ◎禁無断転載
 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

三重大学 知の支援センター

三重大学のことなら なんでもわかるよ



地域にひらかれた大学をめざして、
地域のみなさまに大学を知っていただくために
設置したインフォメーションセンター(窓口)です。
三重大学に関する質問や要望など、
どうぞお気軽にご利用ください。



●場 所/
アスト津 3階 みえ県民交流センター内
〒514-0009 津市羽所町700
●開設時間/午前11時～午後6時(土、日、祝日を除く)
TEL・FAX 059-213-7891
[URL] <http://www.mie-u.ac.jp/home/chinoshien/>
✉ chinoshien@luck.ocn.ne.jp

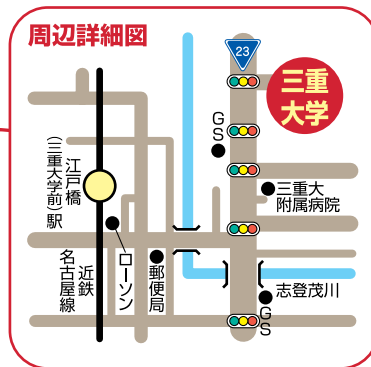
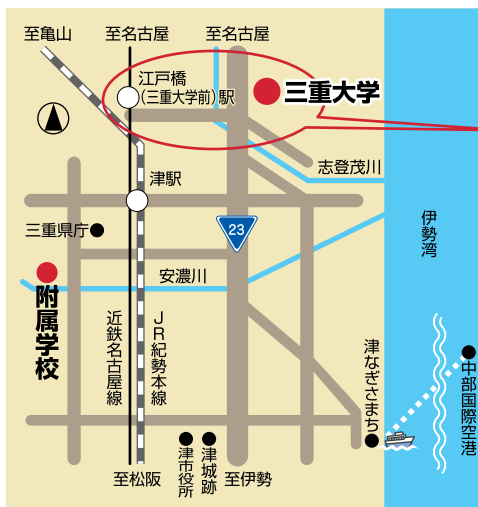
交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)行きで、「大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアポートラインで津なぎさまちへ40分
 1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
 2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分



三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL 059-232-1211(代)
<http://www.mie-u.ac.jp/>



R100

PRINTED WITH
ISOYINK

この印刷物は古紙配合率100%再生紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。